

第100回全国高校野球和歌山大会

球児の夏

紀南10校の横顔

⑤

【田辺工業】

先制、逃げ切りが理想

先制点を取って逃げ切る展開が理想。昨春秋以降の公式戦では結果を残せていないが、後半まで粘り強い試合ができるようになってきた。

練習を経て、打線の調子は上向き。主将で一番を打つ森が出塁し、チーム一の長打力がある黒田、力強い打撃ができる前田らが走者をかえす。

打撃を中心とした冬場の

4月の練習試合で京都翔

責任教諭	山本 和宏		学年	出身校
監督	稲垣 友輔			
選手名				
1	小田 隆太	③	高城	
2	中家 大輔	②	高城	
3	黒田 拓巳	③	南部	
4	畑谷 潤	②	高城	
5	前田 航輝	③	東陽	
6	久保 響暉	②	高城	
7	中川 翔斗	③	大塔	
8	森 歩夢	④	東陽	
9	西村 光輝	③	高城	
10	竹田伊歩希	③	明洋	
11	坂本 勇伸	③	上秋津	
12	仲本 倫盛	③	白浜	
13	岡野 才	③	上富田	
14	中平 智也	③	明洋	
15	太田 渉	③	南部	
16	大倉 翔太	③	大塔	
17	田端 優貴	③	高城	
18	平井 祐次郎	②	高雄	
19	田ノ岡 龍志	②	明洋	
20	線崎 慎平	②	高城	



英(京都府)に打ち合いの末11-10で勝ち、練習の成果が出たことが自信になった。

「上位に長打の打てる打者を並べ、序盤に大量得点を奪いたい」と稲垣友輔監督(37)は期待する。

投手は、エースの小田がどれだけ安定するか。速球やチェンジアップで積極的に三振を取りに行く。小田のパワーは打撃でも期待される。小田を前田らがリリーフして逃げ切りを狙う。部員たちを支えるのは、

チームでただ1人のマネージャー 岩根萌優さん(3年)。「最後まで笑顔で悔いのないようにプレーしてほしい」と選手たちにエールを送る。

森歩夢主将の話 守備はエラーが少なくなってきた。どこでも安打が狙える打線と徹底した全力疾走で自分たちのリズムをつくり、昨夏のベスト8越えを目指す。

【昨春秋以降の成績】
 新人戦Ⅱ1回戦▽秋季近畿県予選Ⅱ1次予選2回戦▽春季近畿県予選Ⅱ2回戦